

平成28年度予算 主な内容

地方創生特区推進事業費	14万円	北京でのフォーラム参加旅費。
ヘルスケアツーリズム推進事業費	45万円	玉川温泉を活用した事業費。
クニマス里帰りプロジェクト事業費	69万円	アドバイザーへの謝礼・旅費。
街灯費	81万円	さくらパークからセントラル工場間の街灯設置費用。

ここが知りたい議論のポイント 平成28年度予算 主な質疑

質問 フォーラムの概要と現地での具体的な活動内容は。

答弁 2016 科学技術イノベーション等社会発展フォーラムに、経済産業省より要請を受け参加する。仙北市の魅力や観光資源、特区活用事業を紹介する予定である。

質問 玉川温泉を活用した外国人医師の招聘事業の進捗状況は。

答弁 内閣府の方から、仙北市に対して認可されている規制緩和であり、早期に実現するように言われている。本年度中に、何らかの方向性を議会に示したいと考えている。

質問 クニマス里帰り事業は、県との共同プロジェクト事業である。田沢湖クニマス未来館（仮称）の設計額の計算間違いの問題の結果、昨年度が受けた補助金を返還する必要はないか。

答弁 県には今回の経緯を説明した。県にも了解を頂いており、返還の必要はない。

質問 街灯設置事業は、当初の予算で企画した事業であるにもかかわらず、いまだに完了していないのはおかしいのではないか。

答弁 年度当初の4基は既に設置済みである。設置予定のエリアには、現在電線がないので、東北電力と調整しながら実施していく。



■計画的な街灯設置を

特別会計の審査

平成28年度 仙北市生保内財産区 特別会計補正予算について



質問 今後の事業運営を心配している。森林の保育事業を行う人員は足りているのか。

答弁 間伐等を行う作業員は確保されている。しかしながら、保育にかかる下刈りや除伐関係は、思ったような作業体制が取れていない状況と聞いている。高齢化による作業員減少が顕著であり、後継者の育成に努めなければならない状況にあることを認識している。

請願

請願理由

国道46号線沿いの適地への「道の駅」建設についてを採択

- ・農家等の所得向上のため、産業・観光振興の拠点が必要と考えている。市と議会には、実現に向けて努力して欲しい。
- ・自然災害の多い仙北市においては、防災機能を持つ道の駅が必要だ。

議論内容

質問 事業主体はどうするのか。

答弁 公設民営しかないと考えている。

質問 採算性は。また、通年営業をどのように行うのか。

答弁 物販機能を重視した形がふさわしいと思う。通年営業の為には、冬が課題となる。沿岸地域とも連携しながら、賑わいを創出するなどの方法があると思う。

議員意見

- ・継続審査として、研究課題とすべきだ。
- ・既に課題は明確になっている。観光のワンストップ化の観点からも適地だと思う。採択すべきである。

市民福祉常任委員会

平成28年度予算 主な内容

し尿処理場管理運営費

5,282万9千円

汚泥再生処理センターのポンプ・機器類の点検、整備。

ゴミ処理場管理運営費

7,395万9千円

環境保全センターの機器類の修繕、更新。

主な質疑

質問 積算根拠が分かるように示すべきではないか。

答弁 ごみ処理・し尿処理施設のプラント系では、国交省等が出している基準書はない。ただ、基準書に準じているものとして、(社)全国都市清掃会議が出している廃棄物処理施設点検・保守工事積算基準図書、諸経費の部分については、国交省から出されている公共建築工事共通積算基準などがあり、コンサルでもこれらのものを使用し積算した。今回の補正予算の金額は、かなり精査されたものであると考えている。また、透明性の確保という観点から、外部コンサルを入れ、随意契約の場合はガイドラインに従って実行し、同業他社の参考見積をとり、もしもの場合の責任の所在をはっきりさせることが重要であると考えている。



■不祥事からの脱却、正常化が図られた環境保全センター

平成27年度 仙北市国民健康保険特別会計 歳入歳出決算認定について



主な質疑

質問 平成27年度で、一般会計からの1億円の基準外繰入は終了しているが、今後の国保財政の見通しは。

答弁 平成28年度以降の財源としては、低所得者が多い国保保険者に対する国からの保険安定基盤繰入金金の増、保険税軽減の減免分に対する法定繰入金金の増を見込み、それに合わせ、前年度までの繰越金、第1期安定化計画で積み立てた国保事業財政調整基金の取り崩しなどを財源にしたい。また、現在の財政調整基金は約1億5千万円であるが、平成30年の広域化までに約8千万円の取り崩しを予定している。

平成27年度 仙北市病院事業会計決算認定について



不認定、認定の立場から、次のような討論があった。

不認定……田沢湖病院への一般会計からの多額な基準外繰入の現状に対し、抜本的な改善策が必要である。

認定……本市の魅力をしかりと持ち得た医療改革プランの作成と医師の確保が重要である。医療局の果たすべき使命は大きい。市長部局と連携し、医療体系の確立を要望する。

平成28年度予算 主な内容

東北観光復興対策交付金

1,979万円

- みちのく三大桜名所プロモーション強化事業(弘前市・北上市と連携)
- インバウンド横軸連携受入整備事業(秋田市・男鹿市・大仙市と連携)
- インバウンドサイクリングコース活用事業(美郷町・大仙市と連携)

東北観光復興対策交付金とは(東北6県で総額予算32億円)

東日本大震災により大きく落ち込んだ東北への外国人観光客を回復させインバウンド急増の効果を波及させることにより、観光を通じて被災地の復興を加速させるための取り組みを支援するもの。8割が国負担である。3年間に渡る交付金。

温泉事業設備基金繰入金

4,500万円

新水沢源泉より田沢湖温泉郷へ引湯する費用。

浄化槽設置整備事業費

209万円

浄化槽5人槽4基、7人槽10基分助成。

むらっこ物産館排水桝・花葉館排水ドレン修繕費

243万円

むらっこ物産館、花葉館修繕費。

有害鳥獣駆除事業費

162万円

猟友会員出勤費、檻の修繕費、免許取得者助成。

中小企業活性化支援事業費補助金

1,200万円

市内中小企業を応援するための補助金。

冬期交通対策費

3億2,417万円

除雪にかかる費用。27年比986万増。

河川改良事業費

158万円

刺巻上水沢川の護岸工事。

住宅リフォーム促進事業費補助金

180万円

住宅・浄化槽設置分の補助。

平成27年度 会計決算



9月16日 現地視察

■まもなく!! 新水沢源泉から田沢湖温泉郷へ
(湯量豊富・温度56~7度)

特別会計決算(歳出総額)

下水道事業	8億3,970万円	浄化槽事業	7,667万円
集落排水事業	4億4,733万円	簡易水道事業	4億6,831万円

企業会計決算(事業収益・事業利益)

温泉事業	3,118万円(△1,638万円)
水道事業	3億1,875万円(3,152万円)

意見

- ・温泉管の修繕は危険を伴うので契約を締結すべき。
- ・水は一番重要!! 未普及地域解消に向け早急に取り組むこと。